

令和4年まちづくりセミナー
ゼロカーボンアクション2050年の東員町はどんなまち？アンケート結果

令和5年3月21日(火・祝)開催
講師：小坂 真理 氏

25人回収

Q1 あなたの年齢についてお答えください。

30代以下	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
0	2	3	9	10	1	0

Q2 セミナーの参加理由についてお答えください。(複数回答可)

①テーマやセミナー内容に興味があったから	18
②知人に誘われたから	6
③その他	1

◇その他詳細◇

・セミナー案内状より知って参加した(1人)

Q3 今回のセミナーについてはいかがでしたか。

①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	記入なし
4	20	0	0	1

◇選択した理由◇

【大変満足】

・いろいろな方々の意見により知見が広がったように思います。
・多くの住民がSDGsに関心があることがわかった。
・ワークショップ形式でグループの皆さんと考えを出し合い、まとめて発表する作業の過程が楽しかったです。自分の思いつかないことも聞くことができました。冒頭に講師の先生からの講義で重要な事項も確認できました。

【満足】

・進め方が良かった。
・ブルーカーボンの意味を理解した。
・セミナーのアプローチに新鮮さがあった。
・単なる講義ではなく興味の持てる手法
・テーマを決めてどうすればいいのかと、ステップの進んだ内容が良かった。
・町内の問題点を考えるよい機会になった。
・ゼロカーボンに対する認識を改めて持った。
・脱炭素が身近に考える機会が得られた。大きな今後の課題と再認識した。
・講演内容が大変良かった。
・様々な角度から皆さんの考え方を知ることができた。
・わかっていることは常日頃から実施すべきだなと感じた。
・ワークショップによる活発な意見交換により様々な発想を聞くことができ有意義であった。
・町としてひとつの方向性を見つけることがとても大変ということが分かった。みんな出来れば良いけれど、、、そういう過程がわかって良かった。

Q4 今回のセミナーについて印象に残ったこと、今後の自身の活動に与える影響などご自由に記入してください。

- ・今後、自治会活動に活かしたい。
- ・今後もこういった形式でやるとおもしろいと思います。ありがとうございました。
- ・チームワーク総力が必要。全員参加で総力化を進めるカリスマリーダーが必要と強く思います。
- ・地区のカフェ、ボランティア活動において「東員町カーボンニュートラル」のガイダンス的な説明の機会を持ちたい。
- ・カーボンニュートラルとSDGsの組み合わせは良かった。
- ・具体的に自分の取組につながるかは疑問である。
- ・定期的なセミナーがあれば参加したい。
- ・日常生活に取り込み少しずつでも脱炭素につなげたい。
- ・いろいろな考えがあって、いろんな取組を自分自身で考えたいと思います。
- ・脱炭素だけでなく、社会課題解決につながる取組をできるよう貢献していきたい。
- ・画面が見にくかったのが残念。
- ・CO2削減をもっと意識して生活していきたい。
- ・学生の意識の低さを聞き、個人への教育が必要と感じた。企業の見学など意識を高めるための協力をしていきたい。
- ・いろいろな方向から考えるようにしていきたい。
- ・国や地方行政が脱炭素の取組みを推進するものというだけでなく町民の一人一人が意識変革して、日々の生活を変えていく必要があるということでのワークショップとても良かったです。「言うは易し行うは難し」ですが、日々少しずつ小さな取組みを積み重ねていけば良く、脱炭素で強じんな活力ある地域をつくっていける。というフレーズはとても印象的でした。
- ・タイムリーなことにIPCCが3月20日に地球温暖化に関する「第6次総合報告書」を公表したというニュース報道があった当日のワークショップで関心が高まりました。
- ・本日は充実した内容と東員町の将来を良くするため地域の皆さんと共に意見交換する機会を作っていただきありがとうございました。